



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.521 6月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和元年5月30日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

あいさつあふれる永田台小

副校長 中村 宏

永田台小学校に着任して二か月が過ぎました。今年度、私が着任して「すてきだな」と感じたことの一つに、朝のあいさつとハイタッチがあります。門のところで交わされる「おはようございます」の声と「パチン」という音に、いつも心があたたまります。この姿を見て、私の好きな絵本の『あいさつがきれいな王さま』という話を思い出しました。簡単ですが紹介いたします。

『あいさつがきれいな王さま』

「王さま、おはようございます。」「王さま、こんにちは。」「王さま、おやすみなさい。」

王さまは、朝起きてから夜寝るまで、あいさつ、あいさつ、あいさつばかりです。

「ええい、うるさい。毎日、毎日同じようなあいさつをするのは、もう面倒だ！」

とうとう、王さまはおふれを出しました。

【今日からこの国では、あいさつを禁止する。あいさつをしたものは、ろうやへ入れる。】

というものです。さあ、国中が大さわぎです。

パン屋さんはお客さんに「おはようございます。」とうっかり言って、つかまってしまいました。昼、お隣のおばさんに「こんにちは。」と言った男の子も、ろうやに入れられてしまいました。あいさつができなくなったこの国は、いつの間にか暗くさみしい国になってしまいました。あいさつを禁止した王さまも、どういうわけか日に日に元気がなくなり、暗くさみしい気持ちになっていきました。

何日かたった朝、王さまはばったり出会った家来についとうっかり、「やあ、おはよう！」と言ってしまいました。家来は、あいさつがきれいな王さまがあいさつをしたことにびっくりしました。王さまは、あいさつをしたおかげで、今までの暗くてさみしい気持ちが、いっぺんに吹き飛んだことに自分でも驚きました。「そうかあいさつをするのは、こんなに気持ちのいいことだったのか。」王さまは自分がまちがっていたことをあやまり、おふれもやめました。それどころか、それから自分から進んであいさつをするようになったのです。

おかげでこの国は、あいさつが飛び交って、ずっとずっと笑顔のあふれる国になりました。

あいさつをすると笑顔になれます。友達と仲よくなれます。お互い気持ちがよくなります。永田台小学校には、このようなあいさつのよさを知っている子ども達がたくさんいます。永田台小の子ども達はもちろん、保護者や地域の方も、地域にいるたくさんの人たちに、あいさつをしてほしいと願っています。私たち教職員も積極的にあいさつをしていこうと思います。そして、今以上に笑顔のあふれる学校、笑顔あふれる地域にしていけたらよいと思います。

